

15. アサギナガタマムシ *Agrilus moerens* E. Saunders, 1873
3. VI. 2019. 1ex.

16. ヒメアサギナガタマムシ *Agrilus hattorii* Nakane, 1983
29. V. 2019. 1ex.; 4. VI. 2019. 1ex.

17. アオグロナガタマムシ *Agrilus viridiobscurus* E. Saunders, 1873
29. V. 2019. 1ex.; 8. VI. 2019. 1ex. ほか

18. ソーンダースチビタマムシ *Trachys saundersi* Lewis, 1893

23. VI. 2019. 1ex.

タケニグサの葉表より得たもので、近くのウツギから飛来したものと思われる。

○参考文献

大桃定洋・福富宏和, 2013. 日本産タマムシ大図鑑. むし社

(Takahito MATSUO 多可郡多可町中区)

兵庫県たつの市揖保川沿いのフェモラータオオモボトハムシの記録

大庭伸也

フェモラータオオモボトハムシ *Sagra femorata* (Dury, 1773) はインドから東南アジア, 中国南部に分布する大型のハムシで, オスの後脚は大きく発達している. 本種は 2006 年に三重県松坂市で確認された後 (戎谷・宮武, 2011) に, 三重県内で分布域を拡大し続け (秋田ら 2010, 2011), 2017 年以降は愛知県名古屋市 (河路, 2019) と大阪府池田市 (齋藤, 2019) でも確認されている. 兵庫県内では, 2016 年 7 月に宍粟市中心街 (三木, 2017), 2017 年 7 月にたつの市新宮町の栗栖川沿い (刈田, 2019) でそれぞれ 1 例が確認されている. これらの報告に続くものとして, たつの市新宮町揖保川沿いで新たに 2 個体を確認したので報告する.

2019 年 7 月 8 日の午前 8 時頃, たつの市新宮町下笹の揖保川河川敷のセイタカアワダチソウに定位している 1 個体を発見した. 図 1 の通り, 光沢の強い赤色系の個体で, 周辺を探索したが, その他の個体は得られなかった. 筆者はその存在を知っていたものの, 兵庫県内で記録があるとは知らなかった. 上記日時に偶然, 河川敷を歩いている際に金属光沢の強い異彩を放つ甲虫が



図 1 確認されたフェモラータオオモボトハムシ (たつの市新宮町下笹).



図 2 確認されたフェモラータオオモボトハムシの死体 (たつの市新宮町下野).

いたので, 立ち止まって注意深く観察したところ本種であった. 更に, 2019 年 7 月 27 日の 18 時半頃, たつの市新宮町下野のアスファルト上で 1 個体の死体を発見した (図 2).

兵庫県ではこれまでに宍粟市と, 今回と同じくたつの市新宮町の栗栖川沿いで発見されている (刈田, 2019). いずれの報告共に, 確実な発生・定着は確認されていなかったが, 本報告を含めて 2016 年以降で宍粟市と隣接するたつの市から 3, 4 例目の報告となることから, 偶発的な記録とは考えにくく, すでに繁殖しているものと推察される. 本種はクズを主なホストとするが, 他のマメ科植物も利用しているため, 農業害虫としても今後の分布拡大が懸念される. 今後の動向にも注意すべきであろう.

○参考文献

戎谷秀雄・宮武頼夫, 2011. 三重県におけるフェモラータオオモボトハムシの 2006 年の記録. 月刊むし, 488: 41.

秋田勝己・乙部宏・高桑正敏, 2010. 三重県に定着した外来種フェモラータオオモボトハムシの駆除を試みて. 月刊むし, 473: 43-44.

秋田勝己・乙部宏・鈴木知之・中西元男・高桑正敏, 2011. 三重県に定着した外来種フェモラータオオ

モモプトハムシ. 月刊むし, 473: 43-44.

三木 進, 2017. 兵庫県宍粟市でフェモラータオオモモ
プトハムシ. きべりはむし, 39 (2): 72-73.

河路掛吾, 2019. フェモラータオオモモプトハムシは
名古屋市にも定着. 佳香蝶 71 (277): 11-12.

刈田悟史, 2019. 兵庫県たつの市でフェモラータオオ
モモプトハムシを発見. きべりはむし, 41(2):51.

(Shin-ya Ohba 長崎大学教育学部)

兵庫県丹波市におけるクロカナブンの採集例

宇野宏樹

クロカナブン *Rhomborrhina polita* は7~9月に出現
する, クヌギやコナラの樹液や熟果に集まる甲虫で, 兵
庫県版レッドリスト 2012 においてCランクに掲載さ
れている.

本種は兵庫県内では宝塚市, 川西市, 多可町, 神河町,
宍粟市, 新温泉町で記録されている(兵庫県, 2012)ほか,
採集日時は明記されていないが丹波篠山市でも確認され
ているようである(大塚, 2015). やや古い記録である
が, 筆者は記録がないか, あっても少ないと思われる丹
波市で本種を採集しているので報告する.

1ex (図), 兵庫県丹波市柏原町大新屋 丹波悠遊の森. 18. VIII.
2011. 筆者採集保管



図 兵庫県丹波市産クロカナブン.

本記録は, 家族旅行で丹波悠遊の森を訪れた際, 樹
液に飛来していた個体を採集したものである.

○参考文献

大塚剛二, 2015. 昆虫たんけん in 篠山. 共生のひろば.
10: 89

兵庫県版レッドリスト 2012. クロカナブン. [https://
www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/JPN/apr/
hyogoshizen/reddata2012/data/04/38.pdf](https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/JPN/apr/hyogoshizen/reddata2012/data/04/38.pdf)

(Hiroki UNO 京都大学大学院農学研究科)

希少種エサキツヤハナバチを含む春のハチ高原の有剣ハチ類 上森教慈

エサキツヤハナバチ *Ceratina esakii* Yasumatsu &
Hirashima, 1969 は高原地帯や山地などのかなり限ら
れた地域に生息している希少種である (Yasumatsu &
Hirashima, 1969). メスは全身に斑紋が全くないこと
でクロツヤハナバチに似るが, 大きさが一回り小さいこ
と, 前胸側板の下縁中央が突出しないこと, 頭盾上区が
ふくらみをもち中央に溝がないことから識別される.

筆者は今回, ハチ高原にて本種を採集したので報告
する. また, 採集地周辺の有剣ハチの記録は少ないこと
から(例えば, 常木, 1967, 1969), 網羅的ではない
が同時に採集したハチについてもまとめて報告する.

採集地は全て養父市ハチ高原, 採集日は全て 2019
年 5 月 3 日である. *を付した種の兵庫県内における記
録は発見できず, 兵庫県初記録と考えられる.

クモバチ科 Pompilidae

*クモリトゲアシクモバチ *Priocnemis (Umbripennis)*
japonica Gussakovskij 1 ♀

ヒメハナバチ科 Andrenidae

ヤヨイヒメハナバチ *Andrena (Euandrena) hebes* Pérez 1 ♀

シロヤヨイヒメハナバチ *Andrena (Euandrena) luridiloma*
Strand 3 ♂ 1 ♀

マメヒメハナバチ *Andrena (Micrandrena) minutula* (Kirby) 1 ♀

カグヤマメヒメハナバチ *Andrena (Micrandrena) kaguya*
Hirashima 3 ♀

*テンコクヒメハナバチ *Andrena (Trachandrena)*
foveopunctata Alfken 2 ♂

コハナバチ科 Halictidae

アカガネコハナバチ *Halictus (Seladonia) aerarius* Smith 2 ♀

ニジイロコハナバチ *Lasioglossum (Sphecodogastra)*
apristum (Vachal) 2 ♀

ミヤマツヤコハナバチ *Lasioglossum (Lasioglossum)*
exiliceps (Vachal) 1 ♀

ミズホヤドリコハナバチ *Sphecodes scabricollis* Wesmael 1 ♀

エサキヤドリコハナバチ *Sphecodes simillimus* Smith 1 ♀